

令和元年度地域産学官と技術士との合同セミナー IN SHIZUOKA

技術が守る防災・減災への挑戦

～いのちを守るために最新科学と技術者が果たす役割～

主催：公益社団法人 日本技術士会

後援：静岡県・静岡市・静岡県災害対策士業連絡会（弁護士会・公認会計士協会・税理士会・司法書士会・行政書士会・土地家屋調査士会・不動産鑑定士協会・建築士会・建築士事務所協会・日本建築家協会・社会保険労務士会及び日本技術士会中部本部静岡県支部で構成）

[開催主旨]

新たに平成から令和の時代となり、あらためて平成の時代を振り返ると、平成3年の雲仙岳噴火、平成7年の阪神淡路大震災、平成12年の有珠山噴火、鳥取県西部地震、平成16年の新潟県中越地震、平成23年の東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年北海道胆振東部地震など大災害が発生し我々の生活に大きな影響を及ぼしてきた。近年、地球温暖化に起因するとも言われる豪雨災害が全国で頻発し、安全安心が脅かされる事象が年々増加している。

今回のセミナーは、産官学の科学者・技術者が一堂に集い英知を出し合うとともに最新の科学技術を結集し、命を守るために防災・減災にどのように挑戦していくべきなのか見出そうとするものです。

日 時：令和元年 11 月 16 日(土)

セミナー 13 時 00 分～17 時 15 分 (無料)

交流会 17 時 30 分～19 時 30 分 (有料)

交流会参加者希望者は当日受付にて 6,000 円お払い下さい

場所：クーポール会館

〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町 2-2

TEL:054-254-0251 FAX:054-251-6233)

※詳細なプログラム及び申込方法は裏面に記載してあります。多くの皆様の参加をお待ちしております

令和元年度 地域産学官と技術士との合同セミナーIN SHIZUOKA

技術が守る防災・減災への挑戦

～いのちを守るために最新科学と技術者が果たす役割～

プログラム

開会 (13:00～13:10)	開会宣言 (公社)日本技術士会 中部本部長 開催挨拶 (公社)日本技術士会 会長	平田 賢太郎 氏 寺井 和弘 氏
来賓挨拶 (13:10～13:25)	与党技術士議員連盟 副幹事長 国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所長 静岡県交通基盤部長 静岡市副市長	岩井 茂樹 氏 篠田 宗純 氏 宮尾 総一郎 氏 美濃部 雄人 氏
基調講演 (13:30～15:00)	題目:「「ちきゅう」が明らかにした南海トラフ地震発生帯の新知見、そしてこれから」 国立研究開発法人海洋研究開発機構研究プラットフォーム運用開発部門 部門長 倉本 真一 氏	
講演その1 (15:10～16:00)	題目:テーマ「減災から防災社会へ」 静岡大学地域創造学環教授・防災総合センター長	岩田 孝仁 氏
講演その2 (16:10～17:00)	題目:テーマ「静岡県の防災対策」 静岡県交通基盤部長	宮尾 総一郎 氏
報告 (17:00～17:10)	『日本技術士会中部本部静岡県支部における防災への取り組み』 (公社)日本技術士会中部本部静岡県支部防災委員長	柴田 達哉 氏
閉会挨拶 (17:10～17:15)	合同セミナー実行委員長 静岡県支部長	山之上 誠 氏
交流会 (17:30～19:30)	(同クーポール会館別会場にて開催致します)	

参加申込書

下記あて FAX 送信するかメール送信をお願い致します 申込締切: 第1次 9月30日(月) 第2次 10月31日(木) 日本技術士会中部本部静岡県事務局 FAX 054 (622) 6388 岩田事務局長あて E-mail: ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp (公)日本技術士会中部本部静岡県支部 HP からもお申込みいただけます。 URL: http://ipej-shizu.sakura.ne.jp/ 問合せは上記にメールあるいは TEL080 (9495) 8566 までお願い致します。		
所属組織・機関名		
所在地住所		
参加者 役職・氏名 複数名での申込み可		
申込者あるいは代表者のメールアドレス・電話番号を記入願います		
参加希望欄に○をつけて下さい	セミナーへ参加する	交流会に参加する

注) 会場の都合により参加者多数の場合は先着順とさせていただきます。

参加人員は、合同セミナー先着 200 名 交流会先着 100 名とさせていただきます。